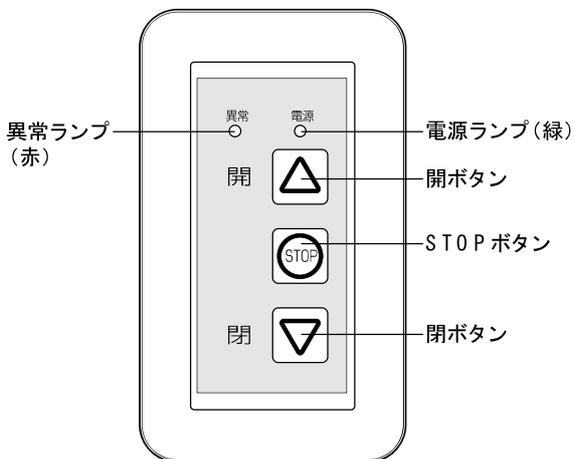


# 3. ご使用方法

## 電動タイプ (操作スイッチによる操作)

### ●操作スイッチ



開けるとき	●操作スイッチ  開ボタンを押してください。
止めるとき	●操作スイッチ  STOP ボタンを押してください。
閉めるとき	●操作スイッチ  閉ボタンを押してください。

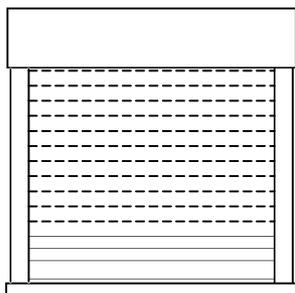
**●開閉時シャッターの動きについて**



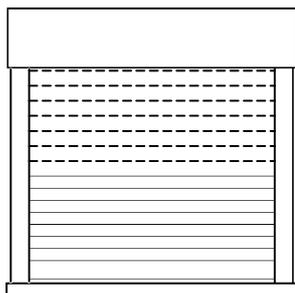
●本商品は、電動モーターの出力とシャッター質量とが、巻取り軸に取付けのスプリング力でバランスを取りながら開閉する構造となっております。特性上、開閉途中で引っ掛かるような動きをする場合もありますが、異常ではありません。(品質上問題ありません。安心してお使いください。)

### 電動03の換気採光操作

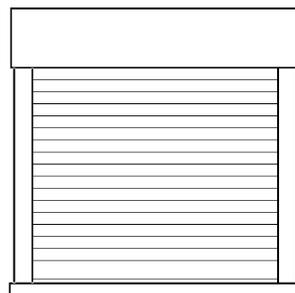
操作スイッチの「開」、「閉」ボタンでシャッターを開閉させ、お好みの位置で「停」ボタンを押し、シャッターを停止させてください。



換気採光状態



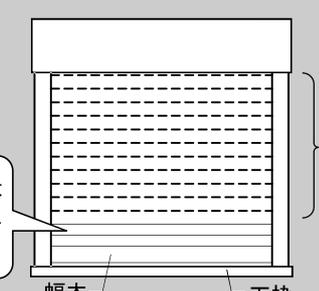
上部だけ換気採光状態



完全に閉めた状態

**⚠ 注意**

●換気状態にするときは、下から2枚以上はスリットが閉じた状態で停止させてください。幅木が下枠から離れた状態で停止させると、外から開けられます。



## 電動タイプ (操作スイッチによる操作)

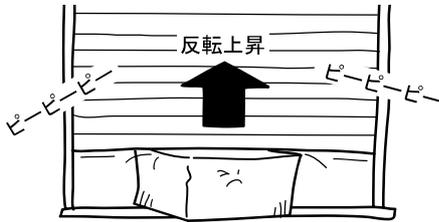
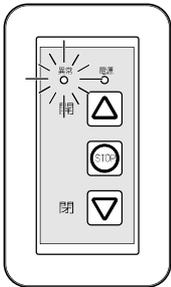
### 障害物検知装置の説明

#### 注意

- シャッターの開閉に支障となるようなものを置かないでください。シャッターや器物を破損する恐れがあります。
- 物を挟んだり、作動中に下を通過する等の行為はおやめ下さい。

①下降中、障害物によりスラットに負荷が加わるとその場で停止または反転上昇し、停止します。

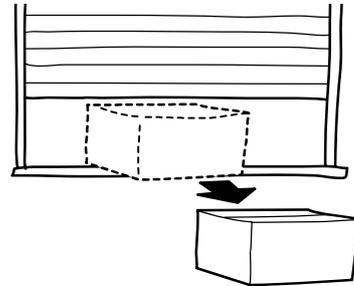
※「ピーピーピー」というブザー音とともに操作スイッチの異常ランプ(赤)が点滅します。



②障害物を取り除き、再度開閉操作を行ってください。

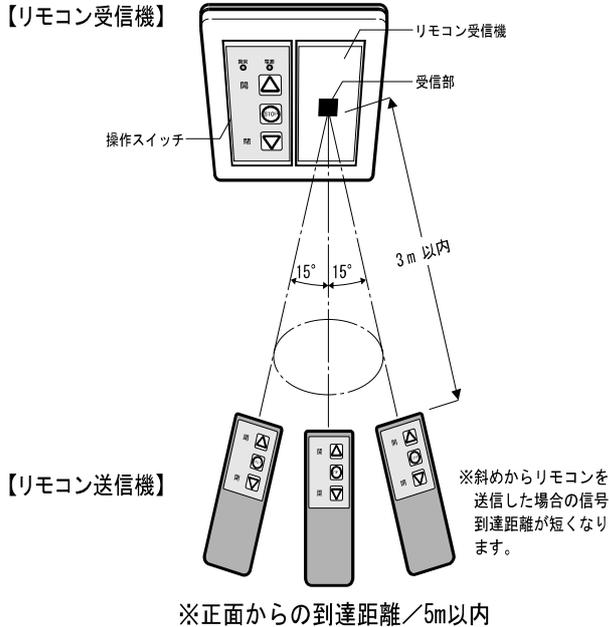
※開閉操作にて異常ランプは消灯します。

※シャッターの中央付近より上及びシャッターサイズが小さい場合は障害物検知装置が利きにくい場合があります。

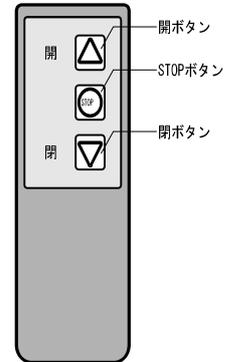


## 電動タイプ (別売り部品の赤外線リモコンによる操作)

### 1 リモコン受信機の信号到達距離



### 2 リモコン送信機の操作



作動状況	操作方法
開ける時	開ボタンを押してください。
止める時	STOPボタンを押してください。
閉める時	閉ボタンを押してください。
障害物検知装置が働いた時	障害物を取り除いた後、再度開又は閉操作してください。

### 3 リモコン送信機の電池交換方法

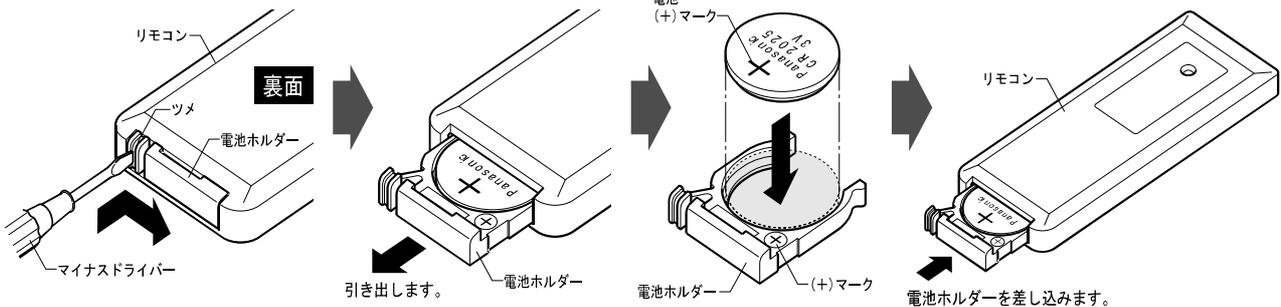
●リモコン電池：ボタン電池 CR2025……1個

※電池の(+) (-)は正しく入れてください。

※電池の寿命は、使用状況に左右されますが、2年ごとの交換をお勧めします。

①電池ホルダーのツメを、マイナスドライバー等で矢印の方向へ押しながら、電池ホルダーを手前に引き出します。

②電池ホルダーの(+)マークに注意して電池をのせます。



■品質向上を目的に設計仕様を変更する場合があります。

## 注意

操作に際し、下記の事項にご注意ください。

- リモコン受信機の中央の四角部分が受信部になっています。受信部分表面をふさぐと、リモコンによる操作ができなくなります。
- リモコン受信機に直射日光や強い光が当たると、正常に作動しないことがあります。その場合は、操作スイッチの開・閉ボタンで操作してください。
- リモコンの信号到達距離は正面から約5mです。リモコン受信機から上下・左右15° 以内で操作してください。斜めからリモコン送信機を操作すると信号到達距離は短くなります。

以下の項目はおやめください。故障の原因となります。

- リモコン送信機に強い衝撃をあたえないでください。
- リモコン送信機のボタンを鋭利なもので操作しないでください。
- リモコン送信機を濡れた手で操作しないでください。

## 停電時の操作方法

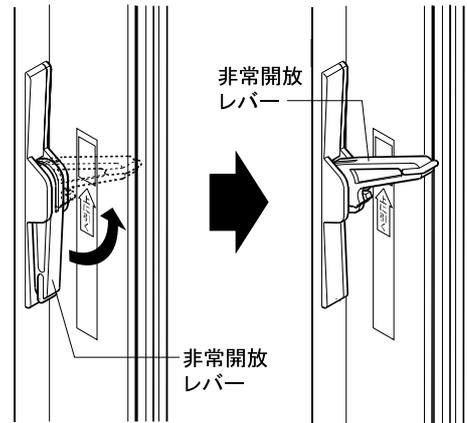
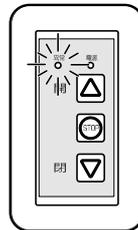
**電動02** 以外の電動タイプのシャッターは停電時には以下の手順で手動操作できます。

### 注意

- 手動操作への切替は「停電時または非常時」以外では行わないで下さい。故障の原因になります。
- 手動操作へ切り換えた際にシャッターが巻き上がり、幅木が非常開放レバーより上の位置まで上昇してくる場合があります。ご注意ください。

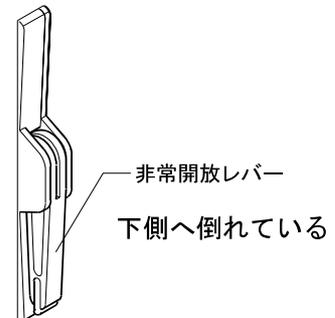
### 手動操作に切り替える

- ①ガイドレールについている非常開放レバーを引き上げると、手動操作に切り替わります。  
※通電中に上記操作を行いますと、操作スイッチの異常ランプ(赤)が点灯し、「ピーピー…」というブザー音が鳴ります。ブザー音は70秒後に止まります。
- ②幅木の中央付近をもってゆっくりと一定の速さで開閉操作してください。
- ③非常解放レバーを下側へ戻すとモーターロックがかかり、手動操作から電動操作に切り替わります。



### 通電後の操作方法

- ①非常開放レバーが右図のように下側へ倒れていることをご確認ください。
- ②操作スイッチの「開」ボタンを押し、シャッターを上限で自動停止させてください。  
※すでに全開の場合は、非常開放レバーを引き上げ、シャッターを手で20cmほど下げてから非常開放レバーを下側へ戻して「開」ボタンを押してください。
- ③その後は操作スイッチで通常動作可能です。



### 注意

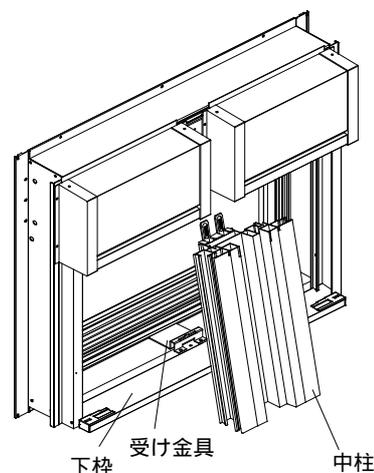
- 通電後、上昇させずにシャッターを下降させると下限でダブついて停止します。また、もし障害物があった場合は反転上昇しません。(その場合は「開」ボタンを押し、上限で自動停止させると、通常動作可能になります。)
- 電動でシャッターが動いている最中に非常解放レバーを引き上げないで下さい。
- 電動03** は非常開放レバーを引き上げる際にシャッターが上昇し大きな音がしますが、故障ではありません。
- 非常開放レバーが引き上げられているときは操作スイッチでの電動操作は出来ません。
- 電動03** の場合は電動操作へ戻しても異常ランプ(赤)が消えず、「閉」ボタンを押してもシャッターは下がりますが故障ではありません。上記「通電後の操作方法」の手順で「開」ボタンを押して一度上限で自動停止させて下さい。異常ランプ(赤)は消え、通常操作できます。
- 電動03** は、手動で閉めたときは換気採光状態にしかなりません。(全閉しません)
- 電動02** は、停電時に手動にて操作することはできません。シャッターが降りている場合は避難できませんので、避難時は他の場所から避難してください。

## 中柱の取扱い方法

本製品は開口が12尺の場合、シャッター中央に中柱が  
付く仕様となります。中柱は以下の方法で取外しがで  
きます。

### 注意

- 中柱の取外しは、むやみに行わ  
ないでください。
- シャッターご使用の際は、必ず  
中柱が確実に取付けられている  
ことをご確認ください。



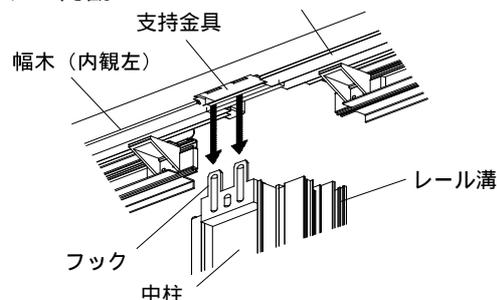
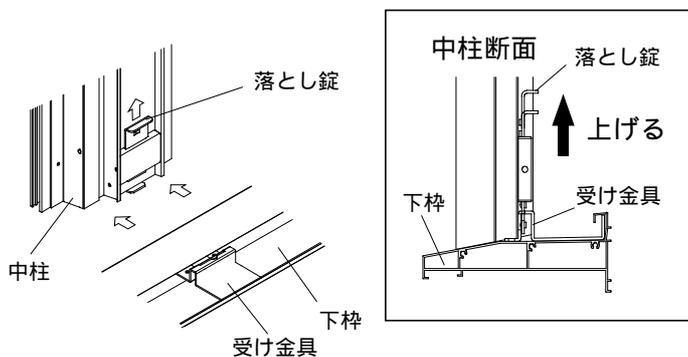
### 取外す時

落とし錠を上げ解錠し、中柱の  
下部を室外側へスライドさせます。

中柱の上部を下に抜きます。

シャッター内観

幅木 (内観右)



中柱上のフックを上枠下面の支持金具から  
抜くようにしてください。

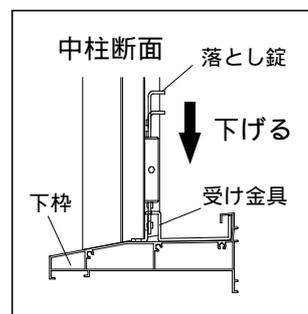
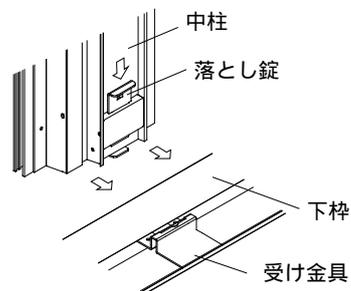
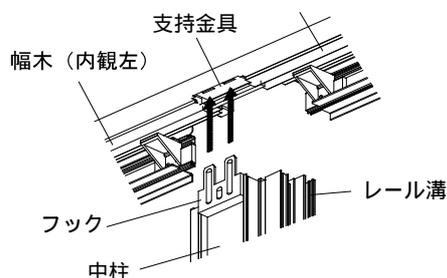
### 取付ける時

中柱の上部を上枠下面の支持金具に  
差しこみます。

中柱の下部を室内側へ受け金具に  
当たるまでスライドさせます。  
落とし錠を下げて施錠します。

シャッター内観

幅木 (内観右)



中柱上部のフックは支持金具に、幅木の端部はレール溝に  
差し込むようにしてください。

### 注意

- 中柱を取付ける際は、必ず以下のことをご確認ください。
- 中柱上部のフックが上枠下面の支持金具に確実に差し込まれていること。
  - 中柱下部の落とし錠が下枠の受け金具に確実に掛かっていること。